

暴力追放山形支部研修会

2022.2.2 パレスグランデール

金村副理事長兼山形支部長挨拶



講師への御礼と出席組合員への御礼の言葉に続き、暴力団排除という社会的責任を果たすため、一致団結して暴力追放三ない運動+1を實踐して、安全で安心なホールづくりを推進しましょう。

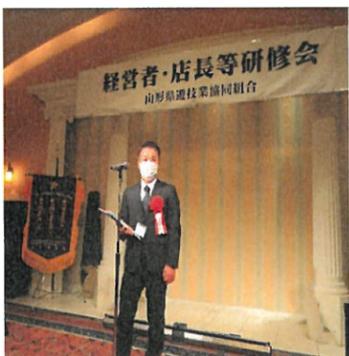
暴力追放三ない運動+1
暴力団を恐れない 暴力団を利用しない
暴力団に金を出さない 暴力団と交際しない

講師

山形県警察本部刑事部組織犯罪対策課
課長補佐 工藤 茂 氏

講話の前に井上理事長の「暴力追放栄誉金賞」受賞のお祝いの言葉をいただいた。

暴力団は全国・県内ともに減少傾向にあり、県内は3団体(住吉会・極東会・浪川会)、5組織、約70人の構成員である。県内のぱちんこ店へのみかじめ料の要求はないものの、飲食店への事案があり、予断を許さない状況にある。



山形支部
組合員の皆様

多数の出席
ありがとうございました。

暴力追放置賜支部研修会

2022.2.4 モントビュー米沢

講師

山形県米沢警察署
刑事第二課長
西田 一平 氏

米沢市には指定暴力団の拠点があり、取締りに力を入れている。薬物や特殊詐欺等の資金獲得活動や、不当な要求には個人ではなく、組織一丸で対応すること。相手の指定する場所に出向かないことや動画・音声を記録することが重要である。



置賜支部
組合員の皆様

悪路、悪天候の中、お疲れ様でした。



暴力追放最北支部研修会

2022.2.9 のゝか本郷館

増井副理事長兼最北支部長挨拶

旧規則機の撤去問題は、皆様のご努力により1月31日で一区切りがついたことに感謝するとともに、ここ10年遊技環境が悪く、苦勞も多いと思うが負けずに頑張っていきましょう。暴力団対策について聴講し、勉強しましょう。



講師

山形県村山警察署
刑事課長
工藤 敦史 氏

相手より多い人数で対応する。念書などは書かない。企業のトップには対応させない。反社会的勢力はいつ来るか分からない。シミュレーションが大切である。



最北支部
組合員の皆様

出席ありがとうございました。



暴力追放庄内支部研修会

2022.2.15 なの花ホール

講師

山形県鶴岡警察署
刑事第二課長
成原 健一 氏

全国的に1963(昭和38)年をピークに構成員は減少し、近年は暴力団排除条例の施行、取締り強化などで表面的な勢力は減少傾向にあるが、酒田市内に拠点を置く組織もあることから注意を呼び掛けた。



庄内支部
組合員の皆様

終了後吹雪となりましたが、交通事故も無く良かったです。



不当要求行為対応要領

- 1 相手側の人定・要件の確認
- 2 応対場所の確保(準備・選定)
- 3 応対人数・時間(相手よりも多く、記録・録音係等)
- 4 言葉遣い(どちらとも取れるような話をしない)
- 5 書類作成、署名、押印の拒否
- 6 トップを対応させない(居留守、忙しいは言わない)
- 7 その場で即答や約束をしない
- 8 湯茶の接待はしない
- 9 対応内容の記録化(言った、言わない ICレコーダー、防犯カメラの活用)
- 10 警察への通報と相談(機を失せず早期の相談)

暴力には屈しない

県遊技業組合
追放研修会

山形
県遊技業協同
組合・県遊技業

暴力追放対策協議会の山形支部（金村鍾文支部長）による暴力追放研修会が2日、山形市のパレスグランデールで開かれた。組合員

ら25人が暴力団からの不当な要求への対応策を学んだ。

県警組織犯罪対策課の工藤茂課長補佐が「最近の暴力団情勢について」と題し講話をした。構成員は減少しているが、組織に属さず犯罪を行う半グレを利用し、依然として大きな脅威になっていると説明した。

反社会勢力が不当な要求をしてきた場合、「警察や県

暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部機関と早期に連携し対処してほしい」とアドバイスした。

（高橋直大）

暴力団への対応を学んだ研修会
山形市・パレスグランデール



不当要求、どう対処

県遊技業協同組合
置賜支部など研修会

米沢
県遊技業協同
組合置賜支部

（金載盛支部長）と県遊技業暴力追放対策協議会（井上静夫会長）による研修会が4日、米沢市のホテルモントビュウ米沢で開かれた。置賜地区のパチンコ・パチスロ店主ら12人が参加し、暴力団からの不当要求への対応法などを学んだ。米沢警察署の西田一平刑事二課長が「暴力団情勢と不当要求の対策について」

の題で講話。暴力団員は全

国、県内ともに減少傾向にあるものの、米沢市には指定暴力団の拠点があり、取り締まりに力を入れていることなどを説明した。

西田課長は「暴力団は社

会情勢に合わせ、多種多様な資金獲得活動をしている」と強調。不当な要求には「個人ではなく、組織一丸で対応することが重要」と説明した。実際に対応する場合の注意点として▽相手の指定する場所には出向かないこと▽動画や音声を記録することなどを挙げた。

（阿久津誠）



暴力団の不当要求への対応方法などを学んだ研修会
山形市・ホテルモントビュウ米沢



誦道

●…県遊技業協同組合最北支部（増井浩一支部長）と県遊技業暴力追放対策協議会（井上静夫会長）の暴力追放研修会が9日、東根市の「のゝか本郷館」で開かれ、組合員ら10人が反社会勢力による不当要求への対応を学んだ。写真。

●…村山署の工藤敦史刑事課長が「暴力団情勢と不当要求の対策について」と題して講話した。暴力団の構成員数は減少傾向にある一方、県内で暴力団による恐喝未遂事件などが発生しているとした。



山形県遊技業協同組合

●…企業に対する不当要求の事例も紹介し▽相手より多い人数で対応する▽念書などは書かない▽企業のトップには応対させない▽などの対策を説明。「反社会勢力はいつ来るかわからない。シミュレーションが大切」とのアドバイスに、参加者は気を引き締めていた。（小林達也）

不当要求への対処法学が

県遊技業組合庄内支部の研修会

三川 県遊技業協同組合庄内支部

（支部長・渡辺茂太郎同組合専務理事）の暴力追放研修会が15日、三川町のな



花ホールで開かれた。写真。庄内地域のパチンコ店関係者が反社会的勢力からの不当要求への対処法を学んだ。

同支部の組合員ら約20人が参加し、鶴岡警察署の成原健一刑事2課長が県内外の暴力団情勢と不当要求への対処法について説明した。成原課長は、全国的に1963（昭和38）年をピークに構成員は減少し、近年は暴力団排除条例の施行、取り締まり強化などで

表面的な勢力は縮小傾向になっていると指摘。違法薬物売買や特殊詐欺などで資金を得る一方、不当要求も後を絶たないとした。県内勢力は3団体5組織の約70人だが、酒田市内に拠点を置く組織もあることから、注意を呼び掛けた。

成原課長は不当要求があった場合、画像や音声の記録、相手より多い人数での対応、相手を特定できる情報の収集が重要とアドバイス。渡辺支部長は「新たな組織が入り込んでくる危険性もあり、備えを万全にしてほしい」と話した。（秋葉宏介）

不当要求の対応は 暴力団追放へ研修会

三川町で県遊技業協同組合庄内支部

庄内地域のパチンコ店で
つくる県遊技業協同組合庄
内支部(渡辺茂太郎支部長)

は15日、三川町のみかわ振
興公社で暴力団追放研修会
を開いた。組合員が警察に

よる講演会を通じて、庄内
地域の暴力団の情勢や不当
要求を受けた際の対応など



暴力団からの不当要求の対
応について学ぶ参加者
を学んだ。

同組合と県警本部は、①
恐れのない②利用しない③金
を出さない④交際しない
の4本柱で暴力団追放運動
を推進。その一環として庄
内支部では、一般客に安心
して利用してもらおうと2
002年から毎年、警察の
暴力団担当課長を講師に研
修会を開いている。この日
は各店の経営者や店長など
16人が参加。鶴岡警察署刑
事第2課の成原健一課長か
ら講話を聴いた。

成原課長は全国の暴力団
の歴史を振り返った後、県
内情勢について解説。20

20年時点で3団体、5組
織、構成員約70人。組員の
高齢化により年々減少して
いるが、「未だに飲食店を
狙った恐喝事件が県内で起
こっており、特殊詐欺によ
る資金集めが増えている」
と注意を促した。

その後、暴力団からの不
当要求に関するDVDを観
賞。「特に、会話の記録化、
複数人での対応、相手の特
定、遠慮のない通報を意識
して」と有事の対応を伝え
た。ダイナム山形イオンタ
ウン酒田店(酒田市)の村
上二夫ストアマネージャー
は「過去に不当要求の対応
をしたことがあったので、
今回学んだことを今後を生
かしたい」と話した。